

2014年度入学試験（推薦入学A日程・11月9日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

園児や小学生などへの英語教育について、「英語教育は早期に行うべきだ」という考えと、「まず、母国語としての日本語の教育をしっかり行うべきだ」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。
 なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・ 子どもの記憶量には限りがあるので、幼児・児童期には大切な母国語（日本語）を身に付けさせるのが望ましい。
- ・ 幼児・児童期には、記憶する力が高いので、その時期に英語を覚えさせるのが望ましい。
- ・ 子どもは、幼児・児童期の間に思考することばとしての母国語（日本語）を身に付けることが望ましい。
- ・ 海外では、二カ国語以上話せるのが当たり前であるので、日本でも早期にバイリンガルにさせることが望ましい。
- ・ 幼児・児童期に海外に居住した場合、母国語（日本語）の本の読み聞かせをすることが望ましい。
- ・ コミュニケーション力を高めるためにも、異文化理解に欠かせない英語教育を早期に行うことが望ましい。

2014年度入学試験（推薦入学B日程・12月8日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

今年六月、国土交通省は「公共交通機関の移動等円滑化整備ガイドライン」を改訂しました。今回新たにベビーカー利用者にも配慮して施設や車両を整備するよう求めています。今まではバスや鉄道などでのベビーカーの利用について統一したルールはありませんでした。しかし最近では「混んでいる時間はベビーカーを使用しないで欲しい。」「たまたまいでおくのは非常識だ。」など、ベビーカー利用者への不満の声が出る一方、「たたくで乗り、片手で子どもをだっこするのは大変だ。」「いつでも声を聞いている時間を選んで乗れるわけではない。」というようにベビーカー利用者からも事情を斟酌して欲しいという声が出ており、ベビーカー利用者と周囲に軋轢が生じつつあります。

世論も二分され、様々な場で議論が展開されていますが、大別して『ベビーカーをいつでも使用できるよう、交通の事業者や周囲の乗客が配慮すべき』という考えと、『ベビーカー利用者側が安全に利用できる時間などを自分で考えたり、乗車時は必ず折りたんだりするなどの配慮をすべき』という考えに分けることが出来ます。

あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて、立場を明らかにして意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として教える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・混雑している車内にベビーカーを持ち込むのは、赤ちゃんにとっても周囲にとっても危険である。
- ・ベビーカーをたたむと、片手で赤ちゃんを抱いたり、おおい紐を使ったりしなくてはならないので不安定になり、かえって危険である。
- ・子どもは大事な宝であり弱い存在なのだから、子どもを育てている最中の人に対して配慮するのは当然である。
- ・子どもを抱いていても優先席に座らせてもらえないことが多い。
- ・混んだ車内でベビーカーをぶつけられたり、足下が不安定になってベビーカー側に倒れそうになったりするなど困った経験のある人は多い。
- ・ベビーカーに子どもを乗せたままの方が、親がいろいろなことに対応できるのでかえって安全である。
- ・たたむ、たたまないを問わず、ベビーカーは車内が混んでくると邪魔に感じる人も多い。小さい子どもを連れた人は空いている時間帯に利用すべきである。
- ・混雑していても、ベビーカーを必要とする子どもを連れて安心して乗車できるシステムを作るべきである。

2013年度入学試験（推薦入学A日程・11月10日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

臓器移植法の改正で、今年の六月、我が国で初めて脳死判定された幼児（六歳未満）の臓器が、他の十歳未満の子どもに提供されました。新しい臓器移植法は、ドナーが意思を表明しない状態の場合、家族の承諾があれば可能とすることも認めました。

この幼児の脳死判定から、臓器提供という出来事に関して、「幼い子どもからの摘出や移植は積極的に行うべきでない」という意見と、「助かる命のために積極的に推進していく方がよい」という意見が出ています。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の知識や経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・今までは臓器移植しか助かる見込みのない子どもたちは海外へ渡って手術を受けなくてはならなかった。それには高額な費用が必要となり、手術を受ける前に亡くなるケースもあった。
- ・脳死と判定されても、その体に触れば温かく、心臓も脈打っている。脳死を自分の子どもの死として受け入れられない人も居る。
- ・男の子から心臓移植を受けた女の子は順調に快復し、今年八月に無事退院した。女の子の両親は男の子とその両親に深い感謝の意を示すコメントを報道を通じて発表している。
- ・臓器提供をする側、受ける側の双方の家族に重い心の負担がかかる。
- ・我が子からの臓器摘出を承諾した両親は、悲しみながらも、「子どもが誰かの一部となって生き続けてくれることを誇りに思う」と語った。
- ・日本でも過去、ほぼ脳死状態と言われた子どもが長期間心停止に至らずに生き続けた例が複数ある。

2013年度入学試験（推薦入学B日程・12月9日）【50分】
作文試験問題

学芸学部…子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

園児や小学生などが、子どもどうしてけんかしている場合「子どものけんかには大人が口を挟まない方がいい」という考えと、「子どものけんかでも大人が仲裁に入るべきだ」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。
なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・子どものけんかをほうっておくといじめにつながる可能性がある一方で、大人が仲裁に入ることが望ましい。
- ・子どもにとつてけんかは痛みを知る機会となるので、大人が中途半端に止めるのは望ましくない。
- ・子どもはけんかなどで感情的になると、相手のことが理解できなくなるので、大人が双方の聞き役に入るのが望ましい。
- ・子どもがけんかを終えるには我慢が必要である。それは大人に強いられるより子ども自身が決定することが望ましい。
- ・子どものけんかかは双方のわがままのぶつかり合いなので、大人がそれをたしなめ、しつけることが望ましい。
- ・子どもが最近しがちな「けんかによる心身の傷も簡単にリセットできる」という思い違いは、実感を通して正すのが望ましい。

2012年度入学試験（推薦入学A日程・11月12日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

現在の電力危機を受けて、これからの発電システムについて議論されていますが、主に、「原子力発電を見直し、他の発電方法に力を入れるべき」という考え方と「安全対策を万全にし、エネルギー効率の良い原子力発電を維持または拡大すべきである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として数える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・現在の社会や人々の生活は大量の電気を必要とし、それらを支えるために、発電力の大きい原子力発電が大きな役割を担ってきた。
- ・チェルノブイリ、スリーマイル島、福島第一などの例に見られるように、原子力は一旦、事故が起きると甚大な被害をもたらす。
- ・原子力施設の事故は、一過性のもではなく、数年、数十年にわたって健康や環境に影響を及ぼし続ける。
- ・日本はエネルギー資源に乏しく、燃料などを海外に求めなければならない現状がある。
- ・水力発電や火力発電は、事故時の影響は小さいが、自然の破壊や温室効果ガスの発生など、建設時や運用時の環境への影響が大きい。
- ・太陽光発電や風力発電は環境への影響は小さいが、技術開発中であり、エネルギー効率がまだ低く、社会システムを支え切れない。

2012年度入学試験（推薦入学B日程・12月11日）【50分】
作文試験問題

学芸学部・子ども教育学科

課題・意見文を書く

問題

公共の乗り物に「優先席を指定する必要はない」という考え方と「優先席をきちんと指定すべきである」という考えがあります。あなたは、どちらの考え方を支持しますか。発想材料を参考に、あなた自身の経験などを材料に用いて意見文を書きなさい。

なお、意見文は次の条件に従って書きなさい。

条件

- ① 文章は、必ず「事実」、「意見」、「意見の理由（証明）」の順に、三段落構成で書く。
- ② 本文は縦書きで、必ず一行二十五字のマス目に十六行以上、二十八行以内で書くこと。句読点も一字として教える。
- ③ 最後に、あなたが書いた文章の要旨を三行（七十五字）以内で書く。

発想材料

- ・車内で、子どもを座らせて祖父母や親が立っているという様子をよく見かける。
- ・困っている方に席を譲るのはどの席に座っていても同じことという考えから、優先席を設けていない会社がある。
- ・若いお母さんが、子どもに席の譲り方を教えて、お年寄りに席を譲るようしつけている光景に出会った。
- ・優先席は、座席や付近のつり革の色を変えたり、窓にマークをつけたりしてあり、わかりやすいようになっている。
- ・優先席は、海外にもある。ただ、それは「誰もが同様に安心して乗車できる」という考え方の下に設けられている。
- ・優先席とは、体の不自由な方や怪我をしている方、お年寄り、妊婦さんなどに優先的に座ってもらえるようにした席である。